



えひめ

Contents

松山港外港地区において発見された 爆発物の処理が実施されました

- 現場だより
- ニュース&トピックス



松山港外港地区において発見された爆発物の処理が実施されました

松山港外港地区において、浚渫工事に先立ち実施した海底面の調査（磁気探査及び潜水探査）において爆発物（7月6日に爆弾3個、砲弾2個、8月26日に爆弾2個等）が発見されました。

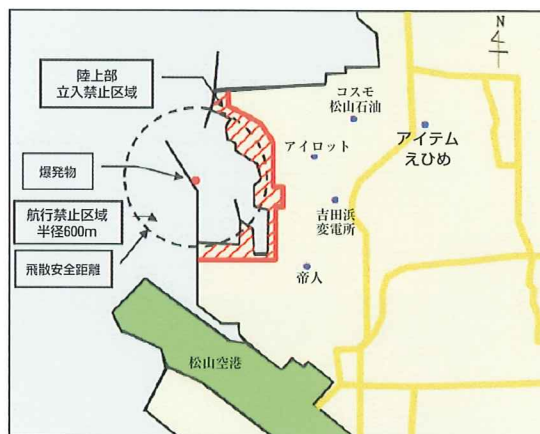
海上自衛隊による調査の結果、爆弾と砲弾には信管が残っており移動させると爆発するおそれがあったため現地にて水中爆破処理する方針が示されました。

このため松山港湾・空港整備事務所では、関係行政機関や周辺企業等関係者で構成する「松山港爆発物処理安全対策連絡会」を設置し、爆発物の処理方法や安全対策について検討を行った結果、11月25日(木)に水中爆破処理することを決定しました。

水中爆破処理では、海底の砂等が周辺に飛散するおそれがあるため爆発物の発見場所から半径600m付近の陸上部と海上部への立ち入りを規制することになりました。立ち入り規制の対象区域には、企業の事業所等があるため、区域内の方々の円滑な避難や水中爆破処理による影響の軽減等を図るため立ち入り規制時間や周知方法、作業分担等について関係行政機関による話し合いが行われました。



▲発見された爆発物の一部



▲爆発物の場所と立ち入り規制区域



▲爆発物の周辺では立ち入り規制が行われました



▲現地対策本部

処理日当日は、天候等による支障も確認されなかったため午前6時、予定通り水中爆破処理を実施することを決定しました。当日の作業は、以下のスケジュールで行われ、無事に作業を終えることができました。

●当日の作業状況

- 7時00分 処理作業開始
- 8時00分 現地対策本部設置
- 11時35分 水中爆破実施
- 13時15分 処理作業終了 安全を確認
- 13時30分 現地対策本部解散

市民の皆様をはじめ港湾関係者等には、ご不便をお掛けしましたが、ご理解とご協力を頂きありがとうございました。



▲水中爆破処理（海上より）



現場だより

◎三島川之江港金子地区防波堤(西)のケーソン据付が終了しました

三島川之江港は、地域の主要産業である製紙・パルプ産業の原材料や製品の物流拠点として大きな役割を果たしています。しかし、大型の船舶に対応できる岸壁が不足し沖待ちや滞船が発生していたため、船舶の大型化に対応した岸壁の整備が課題となっていました。

こうした課題やコンテナ貨物の物流の効率化に対処するため松山港湾・空港整備事務所では、平成14年度より三島川之江港金子地区において水深14mの岸壁をはじめとする国際物流ターミナルの整備を行い、水深14mの岸壁については先行して平成20年3月より暫定供用されています。

今年度は、港内の静穏度を確保するための防波堤(西)(全長200m)の整備を実施し、9月までに最後のケーソン3函の据付が完了しました。この防波堤の整備により従来よりも船舶が安全に岸壁へ接岸でき、物流の効率化に貢献するものと期待されます。

今後は完全供用に向けて背後地の埋立や道路の整備が行われます。



▲三島川之江港



▲ケーソン据付作業

◎松山空港で誘導路の改良工事を行っています

松山港湾・空港整備事務所では、現在、松山空港の誘導路(航空機が駐機場と滑走路を移動するための通路)の改良工事を行っています。

この工事は、経年劣化等により誘導路のアスファルト舗装に生じたひび割れや轍(わだち)の改良を行うものです。

今年度は、松山空港の最も海側にある誘導路の改良工事を行っており、劣化した舗装表面を削り取った後に新たな舗装を施工しています。



▲松山空港



空港内での工事は航空機の運航に支障が出ないように運航が終了した後の夜間に実施しており、迅速かつ安全な施工に配慮しています。



◎現場見学会を実施しました

松山港湾・空港整備事務所では、将来の進路選択の参考にして頂くため、県内で土木を学んでいる高校生を対象に現場見学会を実施しました。

11月19日(金)松山工業高校土木科2年生37名が、松山港外港地区泊地(-13m)浚渫工事の現場を見学しました。生徒の皆さんは、船で浚渫工事の現場まで移動した後、グラブ浚渫船に乗り移って浚渫作業を見学しました。学校で土木を学んでいる生徒の皆さんも実際の建設現場を間近に見るのはあまりなかったようで作業の内容やグラブ浚渫船のことについて担当者に積極的に質問をしている姿が印象に残りました。



▲松山工業高校見学会

12月14日(火)西条農業高校農業土木科1年生32名が、今治港富田地区防波堤築造工事の現場を見学しました。

当日は、天候に恵まれ、波も穏やかであったため生徒の皆さんは工事中の防波堤先端部まで移動して担当者から工事の概要説明を受けました。生徒の皆さんは、担当者の説明に耳を傾けながら真剣な表情で作業の様子を見学していました。



▲西条農業高校見学会

今回の現場見学会に参加した生徒の皆さんの多くが、工事の現場を見学したのは初めてのようでした。

この見学会がきっかけになって建設工事の仕事や港に興味を持ち、進路選択の一助になれば幸いです。



ニュース&トピックス

松山空港「空の日」フェスタに参加しました

9月11日(土)、松山空港にて「空の日」フェスタが開催されました。今年も航空教室や空港見学ツアー、マジックショーなど多彩なイベントが行われ家族連れをはじめ多くの人で賑わいました。

当事務所からは松山空港の模型や「風洞実験装置」の展示、空港整備事業の紹介を行いました。「風洞実験装置」は、飛行機が浮かび上がる仕組みを観察できるもので多くのお子さんが、装置を動かして飛行機の模型が浮かび上がる様子を熱心に観察していました。



▲事務所ブース

普段は立ち入ることが出来ない空港施設の見学など、このイベントを通じて空港をより身近に感じて頂いた一日になったことと思います。

▶ポンジューズ
蛇口もありました



「空の日」とは?

「空の日」は、多くの皆様に航空に対する理解と関心を高めてもらうことを目的に民間航空再開40周年にあたる平成4年に制定されたもので、9月20日を「空の日」、9月20日から30日までを「空の旬間」としています。



みんなの生活展2010に参加しました

10月16日(土)、17日(日)の2日間、松山市大街道商店街にて松山市主催の「みんなの生活展2010」が開催されました。

「みんなの生活展」は、市民の方々が心豊かな暮らしを送るために消費生活・環境・健康についての情報を提供することを目的に開催される松山市恒例のイベントです。

当事務所からは、海洋環境整備事業や当事務所所属の清掃兼油回収船「いしづち」の紹介を行いました。市民の方からは、当事務所の事業や「いしづち」について初めて知ったという方もおり、当事務所のPRに一役買うことが出来た2日間でした。



みなとまちづくりの取り組みを意見交換

～第6回みなとまちづくり研究会が八幡浜市で開催されました～

「第6回みなとまちづくり研究会（ウォーターフロントフォーラム in 八幡浜）」(主催：社団法人ウォーターフロント開発協会)が11月13日(土)八幡浜市で開催されました。

第一部では、みなとオアシス全国協議会の総会が行われ、みなとオアシス全国協議会の事業計画や会則の改正について審議が行われました。続く第二部では、中国人作家でジャーナリストの莫邦富（モー・バンフ）氏による基調講演が行われた後、北海道から九州までのみなとオアシス会員による座談会が行われました。座談会では、各地のみなとオアシスにおける取り組みの紹介や課題について活発な議論が行われました。

翌14日(日)には、関連行事として、全国みなとオアシス物産展が行われました。物産展では、青森県大間港から取り寄せたマグロの解体ショーや全国各地のみなとオアシスから取り寄せた特産品の販売などが行われ、休日にも拘らず朝早くから多くの人達で賑わいました。

また、“港にも駅弁や空弁のような名物弁当を作ろう”との呼びかけで八幡浜港みなとまちづくり協議会が考案した「港弁（みなとべん）」が披露されました。

第2部 みなとオアシスの集い



▲莫邦富氏講演



▲まぐろ解体ショー



▲港弁

この「港弁」は、鰹を使ったひつまぶしをメインにじゃこ天、みかんコロッケなど八幡浜市の特産品を使った弁当で試食をした方からも高い評価を得ていました。

「全国児童水辺の風景画コンテスト」大臣賞伝達式を行いました

第22回全国児童水辺の風景画コンテスト（主催：公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団）の国土交通大臣賞（最優秀賞）に伊方町立佐田岬小学校3年生の阿部拓実君の作品が選ばれ、表彰状の伝達式が12月1日(水)佐田岬小学校で行われました。

このコンテストは、「幼少期に海や川などの水辺に出かけ、興味・関心を持つこと」、「自己の体験を絵にすることで、人間性涵養に必要な感性や表現力を醸成する」ことを目的に行われるもので今年は全国から8,307作品の応募がありました。

国土交通大臣賞に選ばれた阿部拓実君の「漁船パレード」は、5月に地元で行われた「豊漁祭」の漁船パレードで、お父さんの船に家族で乗っている様子を描いた作品で、たくさんの船が波しぶきをあげて進んでいる様子が躍動感豊かに描かれています。

また、今年のコンテストでは、同じく佐田岬小学校3年生の阿部静香さんの作品が入選者に選ばれました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。



▲国土交通大臣賞を受賞した阿部拓実君の「漁船パレード」

出前講座・現場見学会のご案内

四国地方整備局では、私たちが取り組んでいる事業や施策について、より理解を深めてもらうため、職員を派遣する「出前講座」や皆様に現場へ来てもらう「現場見学会」を受け付けています。

出前講座では、意見交換も交えながらニーズや生の声を聞かせて頂き、今後の国土交通行政に反映させていきたいと考えています。

詳しい内容は、以下のホームページをご覧ください。

出前講座：<http://www.skr.mlit.go.jp/kaisai/demae/demae.html>

現場見学会：<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/spotguide/top.html>



— 事務所位置図 —



松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058
松山市海岸通2426-1
TEL 089-951-0161 (代表)
FAX 089-946-8010

